

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-94639

(P2013-94639A)

(43) 公開日 平成25年5月20日(2013.5.20)

| | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------|
| (51) Int.Cl. | F I | テーマコード (参考) |
| A 4 5 C 13/00 (2006.01) | A 4 5 C 13/00 C | 3 B 0 4 5 |
| A 4 5 C 11/04 (2006.01) | A 4 5 C 11/04 A | |

審査請求 有 請求項の数 3 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2011-251066 (P2011-251066)
 (22) 出願日 平成23年10月31日 (2011.10.31)

(71) 出願人 511278970
 安江 和子
 千葉県船橋市前原西1丁目5番2号
 (72) 発明者 安江 和子
 千葉県船橋市前原西1丁目5番2号
 Fターム(参考) 3B045 AA05 AA55 BA08 DA44 JA01
 JA02 JA03 JB01 JC04

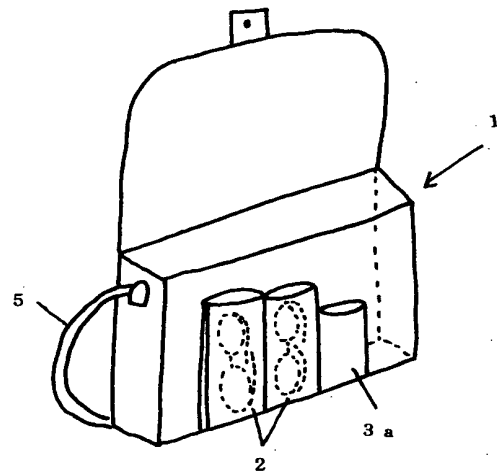
(54) 【発明の名称】 マルチ・ファンクショナル・ポケット (メガネ、カメラ、携帯電話など用) 付バッグ

(57) 【要約】

【課題】 バッグ本体にメガネケース機能ポケットを必要数設け、メガネを破損から守り、メガネの出し入れも素早く行えて、常に複数のメガネを携帯することが出来、更にカメラ、携帯電話等のための多目的ポケットおよびファスナー付多目的ポケットを設けたマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグを提供する。

【解決手段】 バック本体に剛性材料で作ったメガネケース機能ポケットを必要数設け、更にメガネケース機能ポケットの他に多目的ポケットおよびファスナー付多目的ポケットを設け、ショルダーバッグ、ウエストポーチ、斜め掛けと選べる付け替え可能な長短2本のストラップを付属し、日常に旅行にと幅広いシーンに使えるマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグを特徴とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

バッグ本体に剛性材料で作ったメガネケース機能ポケットを複数個設けたメガネケース付バッグ。

【請求項 2】

バッグ本体にはメガネケース機能ポケットの他に多目的ポケット、およびファスナー付多目的ポケットを設けたマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグ。

【請求項 3】

ショルダーバッグ、ウエストポーチ、斜め掛けと選べる付け替え可能な長短 2 本のストラップを付属し、日常に旅行にと幅広いシーンに使えるマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグ。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は複数のメガネ、カメラ、携帯電話などを収納できるマルチ・ファンクショナル・ポケットを設けたバッグに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、バッグの一つのメガネケースの一つのメガネが収納されているため、サングラス、近眼用遠視用メガネ、老眼用メガネ等、複数のメガネを使用する人にとって、バッグの中からそのときに必要なメガネが入ったメガネケースを探すのが困難である。更にバッグの中にカメラ、携帯電話などを所持しているとき、バッグの中の所持品からカメラ等希望のものを迅速に探すことが難しい。

20

[特許文献 1] 眼鏡を簡単に持ち運ぶことができ、しかも、眼鏡の取り出しも素早く行えるとあるが、眼鏡ケースの役割を為す部分がバッグ本体のボトム部にあたり、上蓋状の中仕切りを回動自在にするためにヒンジ連結して眼鏡収容部のサブ収容部を開閉可能としている。このため、バッグを机の上、膝の上などに置く、もしくは眼鏡収納部の底を手で抑えなければ、眼鏡がバッグから落ち、傷つく可能性が高い。

ゆえに、簡単に出し入れが出来るとあるが、片手では操作できず、バッグも机の上、膝の上に置かなければ眼鏡の出し入れができず、眼鏡の出し入れが簡単とは言えない。

30

なお、本発明は上述問題に鑑みバッグを肩にかけている時でも片手で簡単に眼鏡の出し入れができるバッグとなっている。

[特許文献 2] 複数の眼鏡等を収納することができる眼鏡ケースに関するものであるが、あくまでも複数の眼鏡を管理するものであり、人は出かける時に眼鏡だけを持ち歩くわけではなく、その他の物を入れるバッグが別途必要となる。本発明は、上述問題に鑑み眼鏡ケースとバッグが一体となっているため、眼鏡ケースとバッグの二つを持つ手間を解消している。

眼鏡ケース内側に眼鏡が傷つからないためのクッション材が施されていないため、持ち運びの際の衝撃が眼鏡を傷つける恐れがあるが、本発明では、この問題に鑑み眼鏡収納部内側にクッション材が施されるため、眼鏡が傷つからないように考慮されている。

40

[特許文献 3] 眼鏡ケース付きの鞆袋物とあるものの眼鏡が一つしか収納できないが、本発明は、この問題に鑑みサングラス、近眼用遠視用メガネ、老眼用メガネ等、眼鏡が複数収納できるバッグとなっている。

また、本発明の形状はウエストポーチだけとは限らず、長短 2 本のストラップが付いていることにより使用者の好みに応じてショルダーバッグ、ウエストポーチ、斜め掛けという三通りの持ち方が選べ、日常に旅行にと幅広いシーンに使えるマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグである。

[特許文献 4] 複数の眼鏡等を収納することができる眼鏡ケースに関するものであるが、あくまでも複数の眼鏡を管理するものであり、人は出かける時に眼鏡だけを持ち歩くわけではなく、その他の物を入れるバッグが別途必要となる。

50

本発明は、上述問題に鑑み眼鏡ケース等のためのマルチ・ファンクショナル・ポケットとバッグが一体となっているため、眼鏡ケースとバッグの二つを持つ手間を解消している。

また、本発明の形状はウエストポーチまたはポシェットとは限らず、長短2本のストラップが付いていることにより、使用者の好みに応じショルダーバッグ、ウエストポーチ、斜め掛けという三通りの持ち方が選べ、日常に旅行にと幅広いシーンに使えるマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグである。

【先行技術文献】

【0003】

【特許文献1】 実用新案登録3164825号公報

10

【特許文献2】 特開平11-46833号公報

【特許文献3】 特開2006-326238号公報

【特許文献4】 実用平2-4420号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

これらは次のような欠点があった。

日射しの強い屋外ではサングラス、室内時には近眼メガネ（または老眼メガネなど）と、複数のメガネを必要に応じてかけ直す際、メガネケースをバッグから取り出す手間やバッグにしまう手間がかかり素早くメガネを変える事が出来ない。また、急いでいる時にメガネケースに入れられないまま外したメガネをバッグに入れてしまい壊してしまうことがある。

20

本発明は、以上のような欠点をなくすためのものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

バッグ本体にメガネケース機能ポケットを必要数、および多目的ポケットを必要数設けたマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグである。

メガネケース機能ポケットは剛性材料で作成され、メガネを傷つけることなく出し入れできる。本バッグには、このメガネケース機能ポケットが装着されており、バッグをメガネの携帯手段として利用することが可能である。

30

多目的ポケットも付属しており、このポケットにカメラ、携帯電話等を収納し持ち運ぶことが可能である。

また、長短二本のストラップが付いており、このストラップでショルダーバッグ、ウエストポーチ、斜め掛けという三通りの持ち方を選ぶことができ、日常に旅行にと幅広いシーンで使えるバッグである。

本発明は、以上の構成よりなるマルチ・ファンクショナル・ポケット付バッグである。

【発明の効果】

【0006】

メガネを収納することができるメガネケース機能ポケットがバッグに付いていることにより、メガネの出し入れが素早く簡単となる。更に、メガネケース機能ポケットはメガネを保護することができるため、従来のメガネケースを使わずバッグをメガネの携帯手段としても利用することが可能である。

40

多目的ポケットも付属しており、これによりカメラ、携帯電話等が収納・持ち運び可能である。

長短二本の付属のストラップ付ショルダーバック、ウエストポーチ、斜め掛けという三通りの持ち方が選べる日常に旅行にと幅広いシーンで本バッグが使える。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】 本発明の雨蓋を開けた状態を示した斜視図である。

【図2】 本発明の内部を示した説明図である。

50

- 【図 3】 本発明の斜視図である。
 【図 4】 本発明の背面部である。
 【図 5】 本発明の側面図である。
 【図 6】 本発明の底面を示した斜視図である。
 【発明を実施するための形態】

【0008】

以下、本発明の実施の形態を説明する。

- (イ) バッグ本体に剛性材料で作ったメガネケース機能ポケットを必要数設ける。
 (ロ) バッグ本体にはメガネケース機能ポケットの他に多目的ポケット、およびファスナー付多目的ポケットを設ける。
 (ハ) ショルダーバッグ、ウエストポーチ、斜め掛けと選べる付け替え可能な長短ストラップ2本を付属させる。
 (ニ) メガネ収納部内側にクッション材料を施し、眼鏡を傷つけることなく収納することを可能とする。
 (ホ) メガネがメガネケースから外に出ないようにするために雨蓋を有するバッグとする場合、バッグ本体にマグネットの凹部を取り付け、バッグの雨蓋内側にマグネットの凸部を取り付ける。

10

デザイン上バッグに雨蓋を付けない場合は、メガネが外に飛び出ないために十分な深さのあるメガネケース機能ポケットとする。また、メガネケース機能ポケット毎に雨蓋を付ける場合は、メガネケース機能ポケット部分にマグネットの凹部を取り付け、バック雨蓋内側にマグネットの凸部を取り付ける。

20

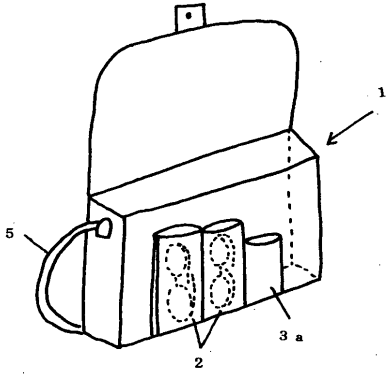
【符号の説明】

【0009】

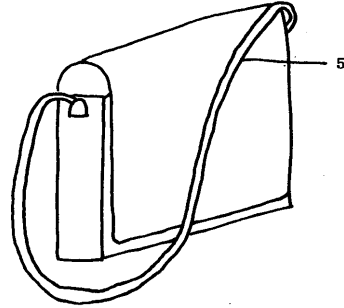
- 1 バッグ本体
 2 メガネケース機能ポケット
 3 a 多目的ポケット
 3 b 多目的ポケット
 3 c 多目的ポケット
 4 多目的ファスナー付ポケット
 5 ショルダー・斜め掛け用ストラップ
 6 ウエストポーチ用ストラップ

30

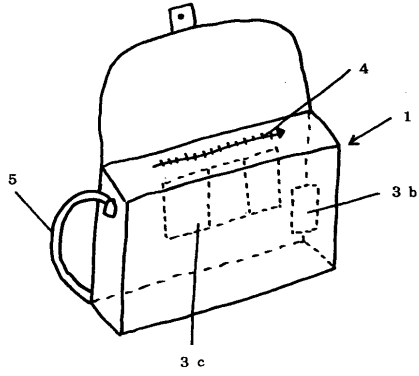
【 図 1 】



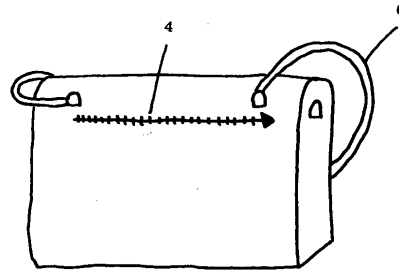
【 図 3 】



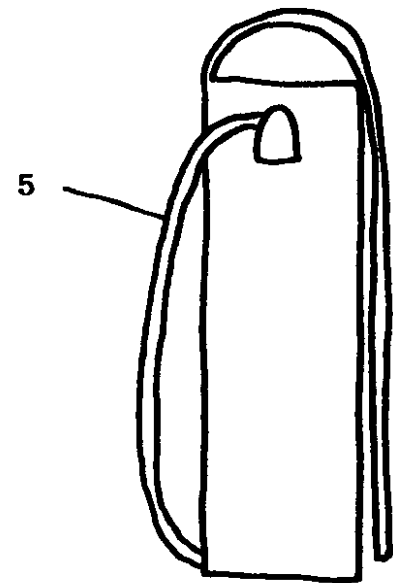
【 図 2 】



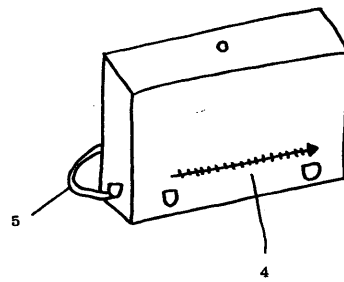
【 図 4 】



【 図 5 】



【 図 6 】



【手続補正書】

【提出日】平成24年6月4日(2012.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

バッグ本体の外側の正面に剛性材料で作った大きさが異なるメガネケース機能ポケットを縦長に3個設けたバッグ。